



Sun StorEdge™ 3120 SCSI アレイ リリースノート

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 817-6636-10
2004 年 5 月、改訂第 A 版

コメントの送付先: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright © 2004 Dot Hill Systems Corporation, 6305 El Camino Real, Carlsbad, California 92009, USA. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. および Dot Hill Systems Corporation は、本製品または文書に含まれる技術に関する知的所有権を所有していることがあります。特に、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に記載される米国特許権が 1 つ以上、あるいは、米国およびその他の国における追加特許権または申請中特許権が 1 つ以上、制限なく含まれている場合があります。

本製品または文書は、その使用、複製配布、およびデコンパイルを制限するライセンスの下に配布されます。Sun およびそのライセンサ (該当する場合) からの書面による事前の許可なく、いかなる手段や形態においても、本製品または文書の全部または一部を複製することを禁じます。

サードパーティソフトウェアは、Sun のサプライヤより著作権およびライセンスを受けています。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、米国およびその他の国における登録商標であり、X/Open Company, Ltd. からの独占ライセンスを受けています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Sun StorEdge、AnswerBook2、docs.sun.com、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

米国政府の権利 - 商用。政府内ユーザーは、Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および該当する FAR の条項とその補足条項の対象となります。

本文書は "AS IS (現状のまま)" として提供されるもので、商品性、特定用途の適合性、または非侵害性に対するすべての暗黙的保証を含め、すべての明示的または暗黙的条件、表明、および保証を、そのような放棄が法律上無効とされる場合を除き放棄します。



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

このリリースの主な機能	1
リリース文書	2
サポートされているオペレーティングシステムとソフトウェア	2
サポートされている接続方法とホストアダプタ	3
サポートされている Sun プラットフォームおよび接続方法	5
サポートされているキャビネット	7
サポートされているディスクドライブ	8
サポートされているケーブル	8
ブート機能	9
必要な Solaris パッチ	10
▼ Solaris 推奨のパッチクラスタをダウンロードおよびインストールする	10
Sun StorEdge 3000 Family ソフトウェアの使用方法	11
▼ ソフトウェアをダウンロードしインストールする	11
ディスクドライブファームウェアのダウンロード	12
マニュアルの訂正	13
既知の問題	14

Sun StorEdge 3120 SCSI アレイ リリースノート

Sun StorEdge™ 3120 SCSI アレイをインストールまたはご使用になる前に、このリリースノートをお読みください。本書では、アレイを正しく使用するために重要な最新ニュースなどの必須情報について説明します。

このリリースの主な機能

このリリースでは以下の機能、サポートされるシステム、製品が利用できます。

- このリリースは Sun StorEdge 3120 SCSI アレイの最初のリリースです。Sun StorEdge 3120 SCSI アレイモデルは JBOD (ディスクを搭載し、コントローラを使用しないアレイ) です。高さ 1.75 インチ (44.45 cm)、幅 19 インチ (48.25 cm) のストレージユニットに 146 G バイトドライブを基準にして最大 584 G バイトを提供する Sun StorEdge 3120 SCSI JBOD アレイは、データホストに SCSI 接続する最大 4 台のディスクドライブを搭載する高性能記憶装置です。
- Sun Storage Automated Diagnostic Environment 2.3 ユーティリティは現在 Sun StorEdge 3120 SCSI アレイのサポートに向けて更新中です。この更新が完了すると、SUNWstade 116720-07 パッチが必要になります。
- CLI 1.5 ソフトウェアはアレイを監視するオプションとコマンドを提供します。Sun StorEdge 3120 アレイで動作するコマンドの一覧については、[11 ページの「Sun StorEdge 3000 Family ソフトウェアの使用法」](#)を参照してください。
- Sun StorEdge Configuration Service 1.5 ソフトウェアにはさまざまなユーザーインターフェース拡張機能が含まれます。Sun StorEdge Configuration Service の詳細は、[11 ページの「Sun StorEdge 3000 Family ソフトウェアの使用法」](#)を参照してください。

リリース文書

これらのリリースノートは、次の表に示す文書を補足するものです。

表 1 Sun StorEdge 3120 SCSI アレイマニュアル

タイトル	Part No.
Sun StorEdge 3120 SCSI アレイ用『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービスマニュアル』	817-6622
『Sun StorEdge 3000 Family 1U アレイ用ラックインストールガイド』	817-6652
『Sun StorEdge 3000 Family FRU インストールガイド』	817-2765
『Sun StorEdge 3000 Family 1.5 ソフトウェアインストールガイド』	817-6632
『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service 1.5 ユーザーズガイド』	817-3337
『Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter 1.5 ユーザーズガイド』	817-3338
『Sun StorEdge 3000 Family CLI 1.5 ユーザーズガイド』	817-6627
『Sun StorEdge 3000 Family 安全、規格、遵守マニュアル』	816-7930

上記の表に記載されたマニュアルは、次の場所からダウンロードできます。

- http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Workgroup/3120
- <http://docs.sun.com/db/coll/3120SCSIarray>

サポートされているオペレーティングシステムとソフトウェア

サポートされているオペレーティングシステムは、次のとおりです。

- Solaris 8 および 9 オペレーティングシステム
- Solaris 9 オペレーティングシステム x86 Platform Edition (9 04/04)
- Microsoft Windows NT Server 4.0、Microsoft Windows 2000 Advanced Server、および Microsoft Windows 2000 Server オペレーティングシステム
- Red Hat AS 2.1 および 3.0
- Novell Netware 5.1 および 6.5

サポートされているソフトウェアは、次のとおりです。

- Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service 1.5
- Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter 1.5

- Sun StorEdge 3000 Family CLI 1.5
- Sun Cluster™ 3.0 および 3.1 ソフトウェア
- Solstice DiskSuite 4.2.1 またはそれ以降 (Solaris 8 オペレーティングシステム用)
- Solaris Volume Manager 4.2.1 (Solaris 9 以降のオペレーティングシステム用)
- Veritas Volume Manager 3.5 および 4.0
- Sun StorEdge Performance Suite (Sun StorEdge QFS ソフトウェアを含む)
- Sun StorEdge Utilization Suite (Sun StorEdge SAM-FS ソフトウェアを含む)
- Sun Storage Automated Diagnostic Environment 2.3

このユーティリティは現在 Sun StorEdge 3120 SCSI アレイのサポートに向けて更新中です。この更新が完了すると、SUNWstade 116720-07 パッチが必要になります。

サポートされている接続方法とホストアダプタ

Sun StorEdge 3120 SCSI アレイは、次のいずれかの方法でホストに接続できます。

- サポートされているホストアダプタを使用する。
- サポートされているホストに組み込まれているシングルエンドの SCSI コントローラを使用する。

サポートされているホストアダプタと接続の一覧については、表 2 を参照してください。

表 2 サポートされているホストアダプタと接続

オペレーティングシステム	ホストアダプタ	Part No.
Solaris オペレーティングシステム	(ホストシステム上の) オンボード SCSI ポート接続	なし
Solaris オペレーティングシステム	Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI ホストアダプタ	(X)6758A
Solaris オペレーティングシステム	デュアル Ultra2 SCSI およびデュアル FastEthernet PCI アダプタ	(X)2,222A
Solaris オペレーティングシステム	デュアル Ultra2 SCSI およびデュアル Gigabit Ethernet PCI アダプタ	(X)4,422A
Solaris オペレーティングシステム	SunSwift アダプタ (Sun FastEthernet 10/100BaseT F/W UltraSCSI SBus アダプタ 1.0)	(X)1,018A
Solaris x86 9 update 6 (Sun Fire V20z サーバーのみ)	Ultra320 SCSI Dual Channel PCI-X アダプタ	X9265A LSI22320-R ¹
Red Hat AS 2.1 および 3.0 (Sun Fire V20z サーバーのみ)	Ultra320 SCSI Dual Channel PCI-X アダプタ	X9265A LSI22320-R ¹
Microsoft Windows 2000/2003/NT	Ultra320 SCSI Dual Channel PCI-X アダプタ	X9265ALSI223 20-R ¹

¹ LSI22320-R HBA は Sun から提供していません。



警告 – Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI ホストアダプタ (X)6758A を使用している場合は、アダプタがインストールされているホストにアダプタのドライバをダウンロードしインストールしてください。ダウンロード手順については、『Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI Host Adapter Release Notes』(Part No. 816-2157) を参照してください。このドライバは Solaris オペレーティングシステムに含まれていないため、ドライバをインストールせずにアレイをアダプタに接続しても、ホストには認識されません。

サポートされている Sun プラットフォームおよび接続方法

表 3 および表 4 に、サポートされる各 Sun システムでサポートされている接続方法を示します。列の「No」は、そのプラットフォームで HBA またはオンボード SCSI ポートがサポートされていないことを示します。

表 3 サポートされている Sun SPARC ベースのシステムおよび接続方法

	(X)6758A ホスト アダプタ	オンボード SCSI ポート	(X)2222A および (X)4422A HBA	(X)1018A SBus アダプタ
Ultra™ 60 ワークステーション	Yes	Yes	Yes	No
Ultra 80 ワークステーション	Yes	Yes	Yes	No
Sun Blade™ 150 ワークステーション	No	No	Yes	No
Sun Blade 1000 ワークステーション	Yes	Yes	Yes	No
Sun Blade 1500 ワークステーション	Yes	Yes	Yes	No
Sun Blade 2000 ワークステーション	Yes	Yes	Yes	No
Sun Blade 2500 ワークステーション	Yes	Yes	Yes	No
Netra™ 20 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Netra 120 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Netra 1280 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Netra t 1120 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Netra t 1125 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Netra t 1400 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Netra t 1405 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Enterprise™ 220R サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Enterprise 250 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Enterprise 420R サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Enterprise 450 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Enterprise 3500 サーバー	No	Yes	No	Yes
Sun Enterprise 4500 サーバー	No	Yes	No	Yes
Sun Enterprise 5500 サーバー	No	Yes	No	Yes
Sun Enterprise 6500 サーバー	No	Yes	No	Yes
Sun Enterprise 10000 サーバー	No	Yes	No	Yes

表 3 サポートされている Sun SPARC ベースのシステムおよび接続方法 (続き)

	(X)6758A ホスト アダプタ	オンボード SCSI ポート	(X)2222A および (X)4422A HBA	(X)1018A SBUS アダプタ
Sun Fire™ 280R サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire V120 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire V210 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire V240 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire V250 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire V440 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire V480 サーバー	Yes	N/A	Yes	No
Sun Fire V880 サーバー	Yes	N/A	Yes	No
Sun Fire V1280 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire 2900 サーバー	Yes	Yes	Yes	No
Sun Fire 4800 サーバー	Yes	N/A	Yes	No
Sun Fire 4810 サーバー	Yes	N/A	Yes	No
Sun Fire 4900 サーバー	Yes	No	Yes	No
Sun Fire 6800 サーバー	Yes	N/A	Yes	No
Sun Fire 6900 サーバー	Yes	No	Yes	No
Sun Fire 12K サーバー1	Yes	No	Yes	No
Sun Fire 15K サーバー2	Yes	No	Yes	No
Sun Fire E20K サーバー	Yes	No	Yes	No
Sun Fire E25K サーバー	Yes	No	Yes	No

1. Sun Fire 12K サーバーは現在 (X)4422A HBA でサポートされていません。
2. Sun Fire 15K サーバーは現在 (X)4422A HBA でサポートされていません。

表 4 サポートされている Sun x86 ベースのシステムおよび接続方法

	オンボード ¹	X9265A LSI22320-R ²
Sun Fire V60x サーバー	No	No
Sun Fire V65x サーバー	No	No
Sun Fire V20z サーバー	No	Yes

1. 現時点で、Sun StorEdge 3120 SCSI アレイの SCSI チップおよび LSI リピータとの互換性がないため、Sun Fire V60x および V65x サーバーのオンボード HBA はサポートされていません。
2. 本書の発行日現在、X9265A/LSI22320-R HBA は Sun Fire V60x および V65x サーバーに接続した Sun StorEdge 3120 SCSI アレイで完全に認定されていません。

サポートされているキャビネット

次の表に、サポートされているキャビネットと関連ラックマウントキットおよびその他の必要なキットを示します。インストール手順は『Sun StorEdge 3000 Family 1U アレイ用ラックインストールガイド』を参照してください。

表 5 サポート対象のキャビネットと関連ラックマウントキット

キャビネット名	キャビネット部品番号	必要なキット	必要なキット部品番号	サポートされるアレイのキャビネットごとの最大数
Sun StorEdge 72- インチ 拡張キャビネット	SG-(X)ARY030A	ラックマウント キット	(X)TA-3000-1URK-19U	16
Sun Fire キャビネット	SF-(X)CAB、SFE- (X)CAB	ラックマウント キット	(X)TA-3000-1URK-19U	10
Sun Rack 900 キャビ ネット	SR9-(X)KM038A-IP	ラックマウント キット	(X)TA-3000-1URK-19U	24
Sun Fire 6800 システム	F6800-1	ラックマウント キット	(X)TA-3000-1URK-19U	7
Sun Fire E6900 システム	E6900-BASE	ラックマウント キット	(X)TA-3000-1URK-19U	5
標準 EIA キャビネット	適用外	ラックマウント キット	(X)TA-3000-1URK-19U	可変
Telco フラッシュマウン ト型ラック	適用外	ラックマウント キット	(X)TA-3110-RK-19F	可変
Telco 重心型マウント	適用外	ラックマウント キット	(X)TA-3110-RK-19C	可変

注 – Sun StorEdge アレイを Sun Rack 900 キャビネットとともに使用する場合は、Sun Rack 900 認定製品 Web ページ <http://www.sun.com/servers/rack/approved.html> を参照してください。

サポートされているディスクドライブ

次の表に、Sun StorEdge 3120 SCSI アレイでサポートされているディスクドライブの説明と部品番号を示します。

表 6 サポートされているディスクドライブ

説明	Part No.	FRU ID 番号
73 G バイト 10,000 RPM	XTA-SC1NC-73G10K	F540-6056
36 G バイト 15,000 RPM	XTA-SC1NC-36G15K	F540-6055
73 G バイト 15,000 RPM	XTA-SC1NC-73G15K	F540-6057
146 G バイト 10,000 RPM	XTA-SC1NC-146G10K	F540-6058

注 - 4 台より少ないドライブを搭載して発送されたアレイでは、アレイ内の空のスロットそれぞれに、空気流と熱に適切に対処するための空気調整用のスレッドが装着されています。各ドライブスロットには、ディスクドライブまたは空気調整用スレッドのいずれかが必要です。

サポートされているケーブル

次の表は、サポートされている SCSI ケーブルのリストです。ケーブルは次の表に示されている営業部品番号を使って注文できます。

注 - すでにケーブルをお持ちの場合は、表の 3 番目の列に記載された製造部品番号と、お手元のケーブルに刻印されている製造部品番号とを照らし合わせてチェックし、そのケーブルがサポートされているかどうかを確認してください。

表 7 サポートされているケーブル

ケーブルのタイプと長さ	営業部品番号	製造部品番号
VHDCI/VHDCI 0.8 m	(X)1,136A	595-5645-01
VHDCI/VHDCI 1.2 m	(X)1,137A	595-5647-01
VHDCI/VHDCI 2 m	(X)1,138A	595-5646-01
VHDCI/VHDCI 4 m	(X)3,830B	595-6349-01
VHDCI/VHDCI 10 m	(X)3,831B	595-6350-01

表 7 サポートされているケーブル (続き)

ケーブルのタイプと長さ	営業部品番号	製造部品番号
HD-68/VHDCI 0.8 m	(X)1,132A	595-5660-01
HD-68/VHDCI 1.2 m	(X)1,135A	595-7460-01
HD-68/VHDCI 2 m	(X)3,832A	595-4693-01
HD-68/VHDCI 4 m	(X)3,830A	595-4694-01
HD-68/VHDCI 10 m	(X)3,831A	595-4695-01

注 - 用意した SCSI バスケーブルを Sun StorEdge 3120 SCSI アレイに接続する場合、必ずケーブルジャックのねじを 6 回時計回りに回して締めてから、アレイの電源をオンにして、正しく動作することを確認してください。

ブート機能

Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI ホストバスアダプタを経由してホストを起動するには、『Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI Host Adapter Installation Guide』(Part No. 816-2156) の「Enabling a Host to Boot Through the Host Adapter」の章の手順に従います。

インストールガイドのオンライン版は次の Web サイトで参照できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Adapters/index.html

ドライバパッチを含むこのホストバスアダプタの最新のパッチの一覧は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/sunsolve/>

SunSolve の検索領域で、「Sun StorEdge PCI Dual Ultra3 SCSI Host Adapter」を検索してください。

必要な Solaris パッチ

Sun StorEdge Configuration Service および Diagnostic Reporter ソフトウェアを使用するには、Solaris 8 および Solaris 9 推奨のパッチクラスタが必要です。ホストをアレイに接続する前に、Solaris ホスト上に Solaris 推奨のパッチクラスタがインストールされていることを確認します。

▼ Solaris 推奨のパッチクラスタをダウンロードおよびインストールする

1. アレイに接続するホストにログインします。
2. <http://www.sun.com/sunsolve> にアクセスします。
3. 「SunSolve パッチ関連コンテンツ」の下の「パッチ・サポート・ポータル」をクリックします。
4. 「各種パッチのダウンロード」の下の「推奨 & セキュリティパッチ」をクリックします。
5. SOFTWARE LICENSE AGREEMENT を読んで、「Agree」ボタンをクリックします。
6. 「Solaris 推奨・セキュリティパッチクラスタ」表の OS 列から、「Solaris 8」または「Solaris 9」を見つけて、「View Readme」をクリックします。
7. ブラウザ ウィンドウから Readme ファイルを印刷または保存します。
8. ブラウザの「戻る」アイコンをクリックして、前のページに戻ります。
9. 「Solaris 推奨・セキュリティパッチクラスタ」表の「Solaris 8」または「Solaris 9」で始まる行から、「Download Cluster」の横の「HTTP」または「FTP」のどちらか目的の形式を選択します。
10. 「名前を付けて保存」ダイアログボックスで、パッチクラスタの保存先ディレクトリを入力し、「OK」をクリックします。
11. Readme ファイルの「INSTALLATION INSTRUCTIONS」セクションの手順に従って、パッチをインストールします。

Sun StorEdge 3000 Family ソフトウェアの使用方法

Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアは Sun StorEdge 3120 SCSI JBOD アレイをサポートしています。JBOD で使用可能な機能の概要については、『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービスマニュアル』のアレイについての説明を参照してください。詳細な範囲については、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザーズガイド』を参照してください。

Sun StorEdge CLI は JBOD アレイをサポートしますが、次の CLI コマンドに限定されません。

- about
- exit
- help
- quit
- select
- set led
- show configuration
- show enclosure-status
- show frus
- show inquiry-data (ショートカットは show inquiry と inquiry)
- show led-status
- show safte-devices
- version
- -disk option (JBOD デバイスを指定するコマンドと一緒に使用)

コマンドの詳細については、『Sun StorEdge 3000 Family CLI ユーザーズガイド』を参照してください。

▼ ソフトウェアをダウンロードしインストールする

Sun StorEdge 3000 Family Professional Manager CD がない場合に、Sun StorEdge Configuration Service、Sun StorEdge Diagnostic Reporter、または Sun StorEdge CLI を Sun Web サイトからダウンロードするには、以下の手順を実行します。

1. http://www.sun.com/software/download/sys_admin.html にアクセスします。
2. 「Storage Management」の下の「Sun StorEdge 3120 SCSI Array Related Software」リンクをクリックします。
Sun Download Center ページが表示されます。
3. まだ登録していない場合、登録します。
 - a. 左欄の下部にある「Register Now」リンクをクリックします。

- b. 登録ページで必要なフィールドに入力し、「Register」をクリックします。
 4. ログインします。
 - a. 左の列にユーザー名とパスワードを入力して、「Login」をクリックします。
 - b. 「Terms of Use」ページでライセンス契約を読み、「Accept」の隣の「Yes」をクリックし、「Continue」ボタンをクリックします。
 5. ソフトウェアダウンロードページで、お使いのアーカイブとオペレーティングシステムのリンクをクリックします。
 6. 表示されたダイアログボックスでダウンロード先ディレクトリを指定し、指示に従ってファイルを保存します。
 7. 『Sun StorEdge 3000 Family ソフトウェアインストールガイド』の指示に従います。
-

ディスクドライブファームウェアのダウンロード

ディスクドライブファームウェアをダウンロードするには、該当する Sun ディスクドライブファームウェアのパッチと手順を使用します。ディスクドライブファームウェアのダウンロードには、CLI または Sun StorEdge Configuration Service は使用しないでください。

注 – ディスクドライブファームウェアは、Sun ディスクファームウェアパッチによって提供され、これに必要なダウンロードユーティリティが付属しています。Sun ディスクファームウェアパッチは、Sun StorEdge 3000 ファミリーファームウェアパッチとは区別されています。

マニュアルの訂正

『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービスマニュアル』では、次の項目を訂正する必要があります。

- 3-2 ページ、セクション 3.2 「パッケージ内容の確認」には誤ったケーブルが掲載されています。SCSI ジャンパケーブル、1.5 フィート (45 cm)、VHDCI-VHDCI は Sun StorEdge 3120 SCSI アレイパッケージで提供されていません。提供されている SCSI ジャンパケーブルは 1 フィート (30 cm)、VHDCI-VHDCI (バス設定用) のみです。
- 6-3 ページの表 6-3 「前面パネルの LED」および 6-4 ページの表 6-4 「背面パネルの LED」の電源 LED の説明に挙げられている電流しきい値は次のとおりにする必要があります。

電流しきい値：

+5 VDC 20A

+12 VDC 12A

- 5-3 ページのセクション 5.2.1 「JBOD のサポート」の Sun StorEdge Configuration Service メインウィンドウのデュアルバス構成の説明を追加する必要があります。

図 1 に示すように、デュアルバス、デュアルサーバー構成を構成できます。デュアルサーバー構成では、SAF-TE の制限によって、メインウィンドウにポート A およびポート B に接続されたドライブが表示されません。プログラムでは図 1 に示すようにポート B に接続されたサーバーからのみ JBOD を監視できます。

または、図 2 に示すように、1 台のサーバーで 2 台の HBA を使用するデュアルバス、シングルサーバー構成を構成できます。シングルサーバー構成では、Sun StorEdge Configuration Service で SAF-TE の制限が補われるため、ポート A とポート B に接続されたすべてのドライブが表示されます。

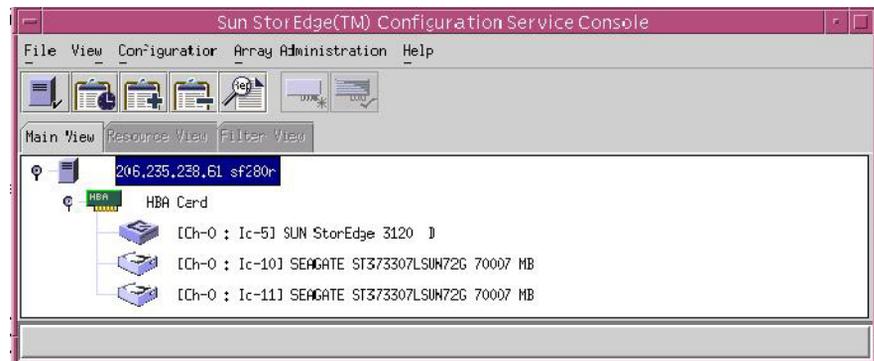


図 1 デュアルバス、デュアルサーバー構成

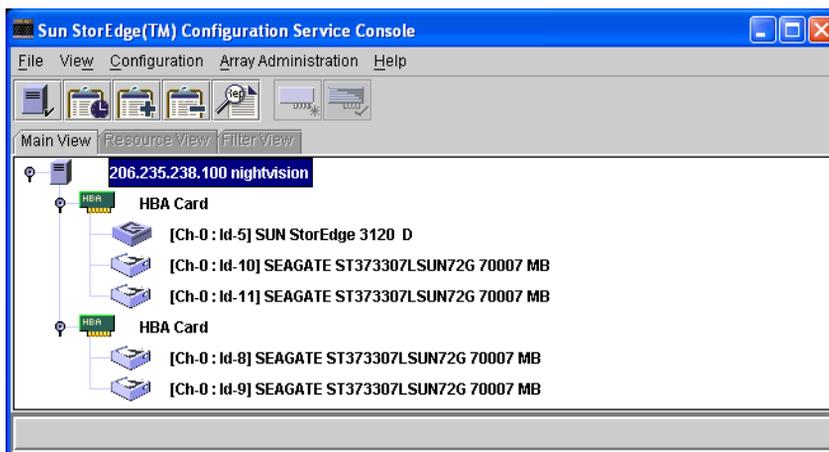


図2 デュアルバス、シングルサーバー、デュアル HBA 構成

既知の問題

- バグ 5007342: SSCS コンソールには、デュアルバス構成の両方のバスが表示されない。この問題は Sun StorEdge 3120 SCSI アレイおよび 3310 SCSI JBOD アレイのみに影響し、設計に関係しています。SCSI JBOD には 1 個の SAF-TE チップが搭載されていますが、次の図に示すように、JBOD はスプリットバス (デュアルバスとも言う) として構成できます。

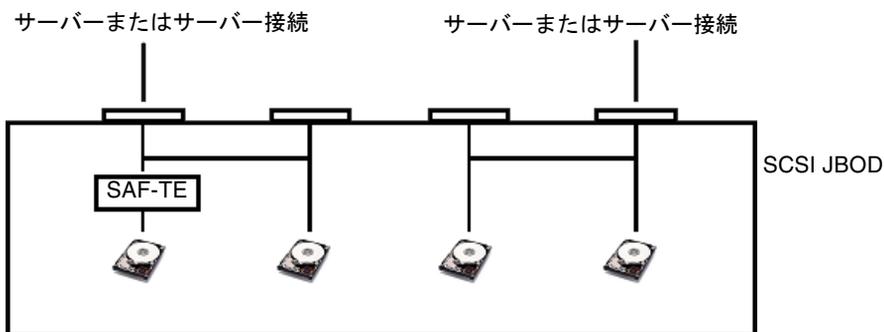


図3 デュアルバス (スプリットバス) 構成の例

Sun StorEdge Configuration Service (SSCS) ソフトウェアは、SAF-TE チップの問い合わせ文字列を検出および認識して、メインウィンドウに SAF-TE と同じバス上のデバイスを表示します。

スプリットバス構成では、SAF-TE チップは 1 つのバスにのみ存在します。SSCS は SAF-TE チップのほか、各バス上の 2 台のドライブも表示する必要がありますが、ドライブが SAF-TE バスに接続されているドライブとモデル番号または製造元が異なる場合に、SAF-TE がいないバス上の 2 台のドライブを表示しません。2 つのバスでモデル番号または製造元が異なる場合、メインウィンドウには SAF-TE に接続されたドライブのみが表示されます。

さらに仕様により SSCS にはドライブの冗長バスが表示されません。そのため、同じバス (シングルバスまたはスプリットバス) の 2 つの JBOD ポートに 2 台の HBA を接続している場合、これらのドライブには HBA が 1 台のみ接続されていると報告され、2 番目の HBA は表示されません。

- **バグ 4948454: probe-scsi-all を使用した場合に、ポート A に「StorEdge 3120 D...」文字列が表示されない。**デュアルバス構成では、ポート A に「StorEdge 3120 D...」ラベルが表示されないため、probe-scsi-all または format コマンドを使用した場合に、シングルバスホスト構成とデュアルバスホスト構成の混乱を招きます。デュアルバス構成では、ドライブの半数に「不明」のステータスが表示されます。ドライブが存在していても、SAF-TE の設計の制限のため、ポート B のラベル情報しか表示されません。
- **バグ 4989784: sccli を使用した場合に、デュアルバス構成でアドレス ID が正しく表示されない。**SAF-TE をダウンロードすると、Sun StorEdge CLI に誤ったアドレス ID が表示されます。デュアルバス構成で、show led-status コマンドを使用すると、誤ったアドレス ID が表示されます。
- **バグ 4990478: SES デバイスを削除し、devfsadm を実行した後も SSCS に 2 台の SAF-TE が表示されない。**SES デバイスを削除し、devfsadm を実行した後に、Sun StorEdge Configuration Service に 2 台の SAF-TE デバイスが表示されます。SAF-TE 1.5 のダウンロード後、Sun StorEdge Configuration Service にアドレス ID が正しく表示されません。プローブ処理によって SES デバイス ID が変更されています。この場合に、SSCS エージェントは重複する SES を削除できません。SSCS コンソールから重複する SES アイコンを削除するには、SSCS エージェントを停止し、再起動します。
- **バグ 4994077: show enclosure-status で存在しない StorEdge 3120 構成が表示される。**Sun StorEdge CLI では、show enclosure コマンドで、格納装置 SCSI チャネルタイプとして「スプリットバス」と表示されます。「スプリットバス」は「デュアルバス」と同義語です。
- **バグ 4997452: sccli help ですべてのコマンドが表示されない。**CLI オンラインヘルプでは、長い形式ではなく、短い形式のコマンド構文が使われている場合があります。短い形式でも長い形式でも CLI で動作します。たとえば、show led でも show led-status でもコマンドが実行され、show battery でも show battery-status でもコマンドが実行されます。すべてのコマンドとそれらの説明については、『Sun StorEdge 3000 Family CLI ユーザーズガイド』を参照してください。
- **バグ 5001923: Microsoft Windows OS での CLI 1.5 による 1 U への SAF-TE ファームウェアのダウンロードが失敗する。**Microsoft Windows オペレーティングシステムでは、Sun StorEdge CLI ではなく、Sun StorEdge Configuration Service を使用して、SAF-TE ファームウェアをダウンロードします。CLI を使用すると、ダウンロードが成功しません。
- **バグ 4994880: SSCS 1.5 では、電源 FRU を取り外した場合、温度センサーが最後に読み取った値が報告され、温度センサーが存在しないというステータスが表示されない。**電源 /FAN FRU が物理的に取り外された場合に、Sun StorEdge Configuration Service の「格納装置を表示」ダイアログボックスの温度読み取りのステータス値と Sun

StorEdge CLI の `show enclosure-status` コマンドから返される結果が一致しません。Sun StorEdge 3120 アレイ格納装置から電源 0 FRU を物理的に取り出すと、CLI `show enclosure-status` コマンドで電源 0 およびファン 0 のステータスが正しく「なし」に変更されます。温度センサー 2 も正しいステータスに変更されます。しかし、Sun StorEdge Configuration Service の「格納装置を表示」ダイアログボックスには、電源 0 およびファン 0 は削除されたものとして示されますが、温度 2 は最後に表示された温度値のままで示されます。電源 0 とファン 0 の取り外しはイベントログに記録されますが、取り外した温度センサーのステータスは記録されません。

- **バグ 5011333: probe-scsi-all で内部 SCSI バスの出力が異なる。** SE3120 が E250 プラットフォームの内部 SCSI バスに接続されている場合に、`probe-scsi-all` コマンドによって、出力文字列ラベルに長い予想されない文字「D1159006471 SAF-TE1.00 F」が含まれます。
- **バグ 4947971: (X)2222A の probe-scsi-all で目的の ID F が表示されない。** `probe-scsi-all` コマンドには、デバイス「f」の表示の問題がありますが、Solaris システムを再起動すると、このデバイスを使用できるようになります。